

## 流れるままに(14)

=いのちの流れ=

**聖書: 黙示録22:1-2; 箴言4:23**

①心の病気:(cf.ヘブル3:8,13; マタイ13:22; 箴言4:23)

「およそ病とは、心のとどまるをいふなり」(柳生但馬守『活人剣』)

「仏法にては、この止まりて物に心の残ることを嫌い申し候。故に止まるを煩惱と申し候」(沢庵『不動智神妙録』)

「流水腐らず」(中国故事)

「水は万境に従って転ず、転ずるところ実によく幽なり」(同)

②健やかさの特徴:さらさらと流れること→いのちは流れるもの;互いの間を行きめぐり、互いに交換し、互いに共有するもの(創世記2:10; 出エジプト3:8)

③私たちの生きるエネルギーの源:神と子羊の御座から流れる水(黙示録22:1-2; ヨハネ6:33)

④鍵は自己放棄・自己放下

・佛道をならふといふは、自己をならふ也。自己をならふといふは、自己をわするなり。自己をわするるといふは、萬法に證せらるるなり。萬法に證せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。(道元『正法眼蔵一現成公案』)

・それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。(ルカ9:22-23)

### ●暗証聖句●

天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみのらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。